

施策番号	施 策 名	地域林業の推進	基本目標	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり		
1-1-4			政策名	持続可能な農業の基盤整備と支援の強化		
	主 管 課	農林課	課長名	高橋 力	内 線	261
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図			結果			
森林が持つ多面的機能の理解促進と、機能に応じた森林の整備・保全をすすめます。		町民・町有林・私有林・森林所有者	・森林が持つ多面的な機能について町民の理解を深める ・計画的な保育・造成等により森林を適正に管理する			森林が持つ多面的・公益的機能（災害防止・水源かん養・生物多様性の保全・生活環境の保全・地球温暖化防止など）が発揮される			
成果指標		説明	単位	策定時【基準値】	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標
①	森林が持つ多面的機能を知っている町民の割合	住民意識調査	%	89.8 (R3)	88.6	88.6			90.0
②	適正に管理されている町有林面積の割合	森林調査簿より	%	99.6 (R3)	99.5	99.5			99%以上
③	適正に管理されている私有林面積の割合	森林調査簿より	%	94.9 (R3)	95.0	95.0			95.0
④									
成果指標設定の考え方		①森林整備の必要性の理解度を段階的に高めていくという考え方により、目標を90%としたもの。 ②限りなく100%に近い適正管理面積を目指すもの。 ③策定時と同程度の高水準を維持する考え方により設定。							

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費（千円）	68,276	99,434	76,508		

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察							
①2024年度の成果評価 (前年との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した	想定される理由	・各種計画に基づく取り組みの継続により、高水準を維持している。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった						
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した						
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠(理由)	・計画に基づく森林の管理、保育の継続により、概ね目標を達成できた。 ・森林環境譲与税を活用した事業実施により、森林の持つ多面的機能の理解促進が進み、目標達成につながった。				
	<input type="checkbox"/> いが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能						
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい						
(2) 施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括							
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業					
③事務事業全体の振り返り(総括)	・各種計画等に基づき、植栽、下刈、野そ駆除等を実施した。 ・豊かな森づくり推進事業を活用し、私有林の適正管理に対して支援を行うとともに、所有者負担分について森林環境譲与税を活用して支援した。						
(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)							
担当課評価	成果指標は高水準で推移しており、町民による植樹や育樹の事業が実施できていないが、計画的な保育、造成等により森林の適正管理や森林環境譲与税の活用による木材利用促進など進んでいるため、計画策定時と比較すると維持と考える。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

A：実現した B：（後期実施計画策定時と比較して）大きく前進した C：（後期実施計画策定時と比較して）前進した
D：（後期実施計画策定時と比較して）変わらない又は維持した E：（後期実施計画策定時と比較して）後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・森林認証制度の導入による森林所有者の造林意欲向上が期待されているが、所有者所在不明や経費負担が要因で、私有林の適正管理が進まない状況がある。 ・森林環境譲与税の有効活用について、継続して検討する必要がある。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	・林業に光が当たる施策 →近年、植樹祭等の森林に触れる機会がなかったため、令和7年度に森林に関するイベントを開催予定。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たにに取り組むべき課題)

・森林所有者の森林管理経費について、引き続き補助事業を活用するとともに、所有者負担分について森林環境譲与税を活用して支援し、私有林の適正管理を促進する。 ・庁内関係部署と協議し、公園木製遊具や、学校、保育所における木製建具の整備など、庁内横断的な視点で森林環境譲与税の活用策を検討する。 ・町のゼロカーボン施策、国の「みどりの食料システム戦略」における森林が果たすべき役割を認識し、町内全体の森林の適正管理、保全に努める。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	・ゼロカーボンの施策について、関係部署横断的に取り進めてもらいたい。 ・町民に森林に興味や良さを宣伝してほしい。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					